

農 研 速 報

令和元年 6 月 21 日発行

茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室

〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974

TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

水稻の生育状況(6月17日現在、龍ヶ崎市)

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況及び今後の栽培管理	備考												
茨城県 (龍ヶ崎市)	4 月 26 日	「あきたこまち」 節間伸長開始期 「ふくまる」 節間伸長開始期 「コシヒカリ」 最高分げつ期	主稈葉数からの 予測 「あきたこまち」 3 日早い 「ふくまる」 平年並 「コシヒカリ」 1 日早い	◇4 月第 6 半旬～6 月第 3 半旬は、平均気温が平年よりやや低く(−0.8℃)、日照時間がやや少なく(91%)推移した。 主稈葉数からみた生育は、「あきたこまち」で平年より 3 日早く、「ふくまる」で平年並、「コシヒカリ」で 1 日早い。 平年に比べ、3 品種の草丈はやや短く、葉色はやや濃い～濃い。 ◆今後の栽培管理 (1)「あきたこまち」は間断かんがいをを行う。 ただし、減数分裂期頃(出穂前 8～15 日、幼穂長:約30～100mm)に17℃以下の低温が予想される場合、障害不稔の発生を軽減するため、水深10 cm以上の深水管理を行う。 「ふくまる」および「コシヒカリ」は、遅くとも幼穂形成期までには中干しを終了し、間断かんがいに移行する(「ふくまる」:6月第5半旬、「コシヒカリ」:6月第6半旬)。 (2)穂肥は幼穂長を確認し適期に行う。穂肥の施用時期の目安は以下のとおり。 <table><tr><td>品種</td><td>出穂前日数</td><td>幼穂長(mm)</td></tr><tr><td>あきたこまち</td><td>18～20日ごろ</td><td>3～10</td></tr><tr><td>コシヒカリ</td><td>15日ごろ</td><td>30</td></tr><tr><td>ふくまる</td><td>18日ごろ</td><td>10</td></tr></table>	品種	出穂前日数	幼穂長(mm)	あきたこまち	18～20日ごろ	3～10	コシヒカリ	15日ごろ	30	ふくまる	18日ごろ	10	間断かんがいは3～4 日間隔で入水と自然落水を繰り返す。 ●イネ縞葉枯病の防除 昨年、イネ縞葉枯病の発生が認められた地域で、ウンカ類に登録のある薬剤で育苗箱施用をしてもなお本病の発生が多かった水田や、本年育苗箱施用を行わなかった水田では、6 月中下旬にヒメトビウンカの防除を行う。防除にあたっては、茨城県農業総合センター病害虫防除部のホームページを参考にする。 ●いもち病に注意 気温 20～25℃で、弱い雨や霧などが続いてイネの葉が長時間濡れるような条件のとき発生しやすいので注意する。 ●いもち病・紋枯病の発生する圃場では、玄米千粒重の低下と乳白米の発生が懸念されるため、早期に防除を行う。
品種	出穂前日数	幼穂長(mm)															
あきたこまち	18～20日ごろ	3～10															
コシヒカリ	15日ごろ	30															
ふくまる	18日ごろ	10															

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況及び今後の栽培管理	備考
茨城県 (龍ヶ崎市)	5 月 7 日	「あきたこまち」 最高分げつ期 「コシヒカリ」 最高分げつ期	主稈葉数からの 予測 「あきたこまち」 2 日遅い 「コシヒカリ」 2 日遅い	◇5 月第 2 半旬～6 月第 3 半旬は、平均気温および日照時間とも平年並で推移した(平均気温: -0.2℃、日照時間: 100%)。 主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」および「コシヒカリ」とも、平年より 2 日遅い。 両品種の草丈および葉色とも平年並である。 ◆今後の栽培管理 「あきたこまち」は幼穂形成期(6 月第 5 半旬)までに中干しを終了し、その後は間断かんがいを行う。 ただし、穎花分化期～減数分裂期(出穂前 25～8 日、幼穂長: 約 1～100mm)にかけて 17℃以下の低温が予想される場合には、障害不稔の発生を軽減するため、水深 10cm 以上の深水管理を行う。 「コシヒカリ」は 7 月第 1 半旬(幼穂形成期)までに中干しを終了し、間断かんがいに移行する。	

水 稻 の 生 育 状 況

(水田利用研究室)

表1 4月26日移植(龍ヶ崎市, 移植後49日, 6月14日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色(カラスケール)			葉色(SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	52.1	91 (57.0)	95 (55.0)	798	104 (769)	105 (762)	4.6	+0.3 (4.3)	+0.7 (3.9)	43.9	+4.4 (39.5)	+7.3 (36.6)	10.1	-0.1 (10.2)	+0.3 (9.8)
ふくまる	53.9	87 (61.8)	94 (57.6)	750	115 (655)	106 (705)	4.0	+0.1 (3.9)	+0.2 (3.8)	39.3	+1.6 (37.7)	+4.0 (35.3)	10.4	-0.3 (10.7)	±0 (10.4)
コシヒカリ	50.8	85 (59.7)	91 (55.9)	752	110 (684)	94 (796)	4.6	+0.1 (4.5)	+0.7 (3.9)	41.0	+3.4 (37.6)	+5.9 (35.1)	9.9	-0.3 (10.2)	+0.1 (9.8)

表2 5月7日移植(龍ヶ崎市, 移植後41日, 6月17日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色(カラスケール)			葉色(SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	45.3	105 (43.3)	98 (46.1)	669	108 (619)	91 (732)	4.3	-0.3 (4.6)	-0.3 (4.6)	40.9	+0.4 (40.5)	±0 (40.9)	9.1	-0.1 (9.2)	-0.2 (9.3)
コシヒカリ	45.5	100 (45.2)	98 (46.3)	605	93 (647)	78 (773)	4.2	-0.5 (4.7)	-0.2 (4.4)	39.8	+0.3 (39.5)	+1.0 (38.8)	9.1	-0.2 (9.3)	-0.2 (9.3)

注1) カッコ内の数値は前年または平年の実測値

注2) 栽培概要

1.苗質: 稚苗

2.植え付け本数: 5本/株

3.基肥量:

あきたこまち N:P₂O₅:K₂O = 0.7:0.7:0.7(kg/a)

ふくまる N:P₂O₅:K₂O = 0.8:0.8:0.8(kg/a)

コシヒカリ N:P₂O₅:K₂O = 0.6:0.6:0.6(kg/a)

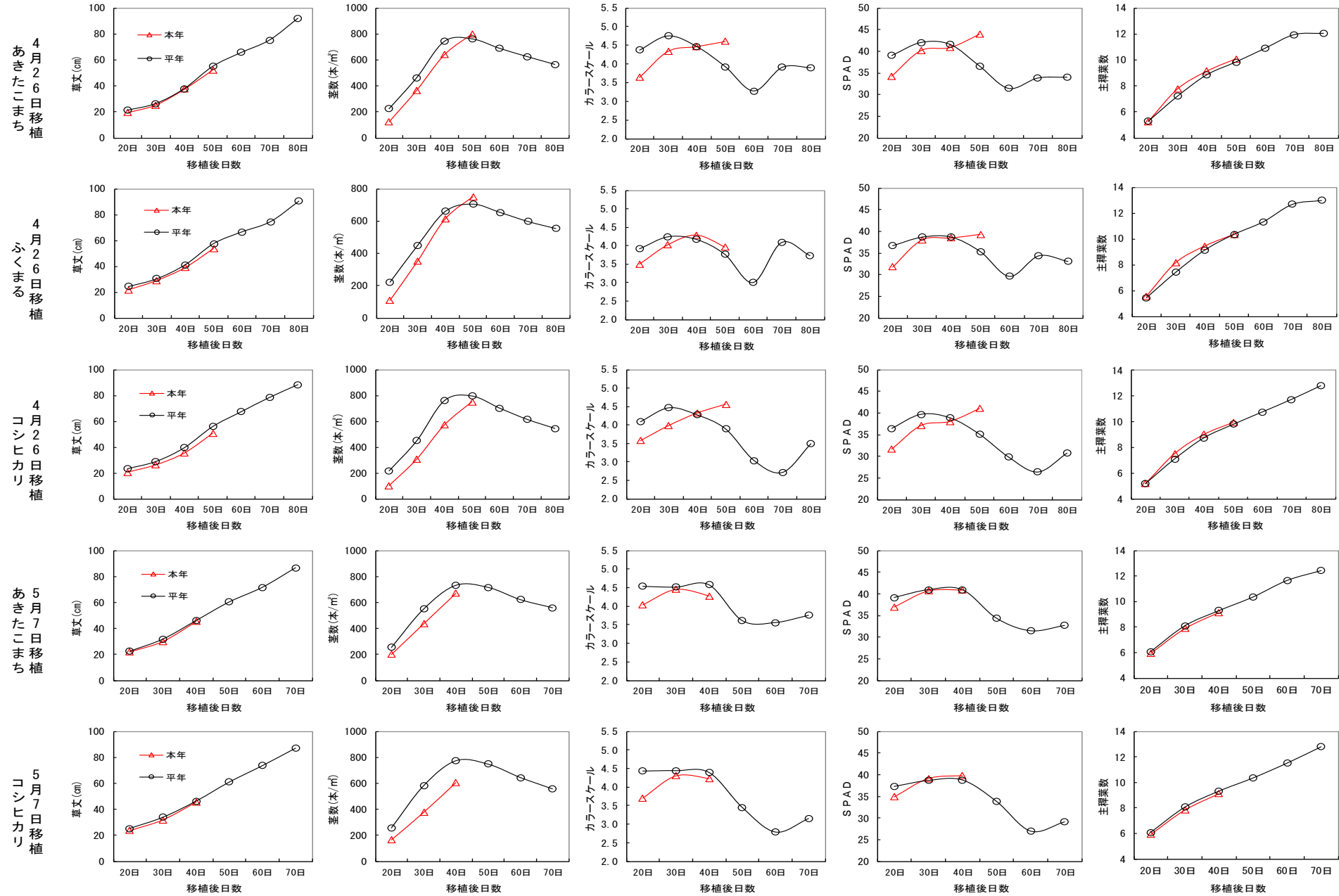
4.栽植密度(株/m²):

現地の実情を踏まえ、平成29年から一部変更

	平成29～令和元年	平成26～28年
あきたこまち	18.5	22.2
ふくまる	18.5	18.5
コシヒカリ	15.2	22.2

5.平年値: 平成26～30年の5年間の平均値

令和元年の生育経過グラフ



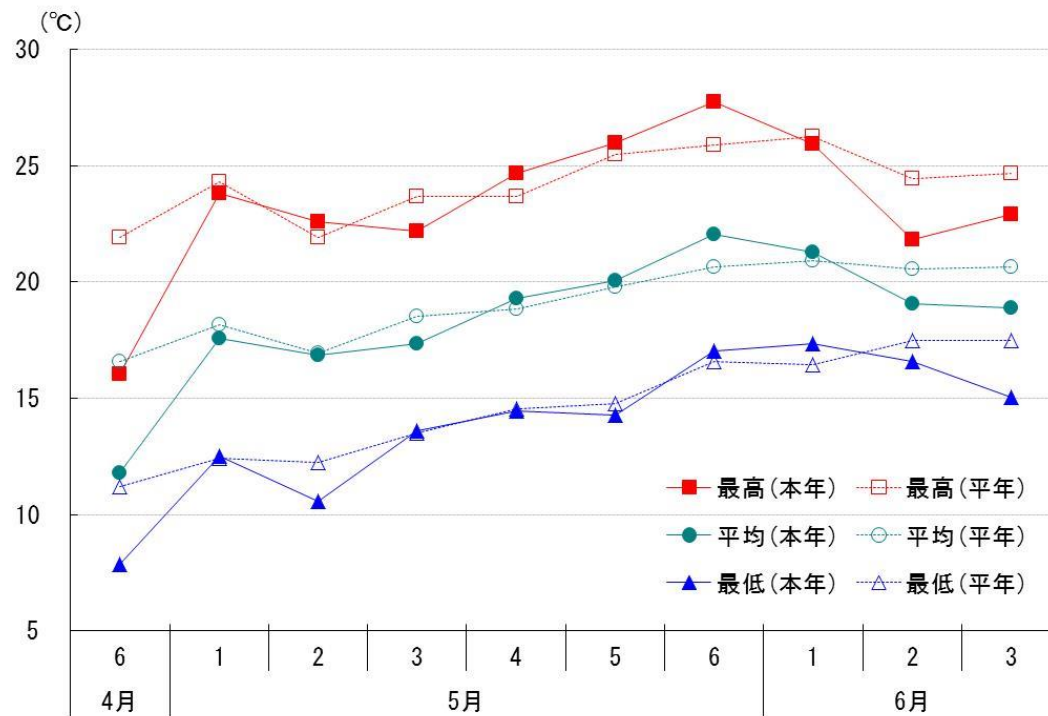


図1 半旬別気温の推移（龍ヶ崎市）

注）平年値：平成26～30年の5年間の平均値
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成

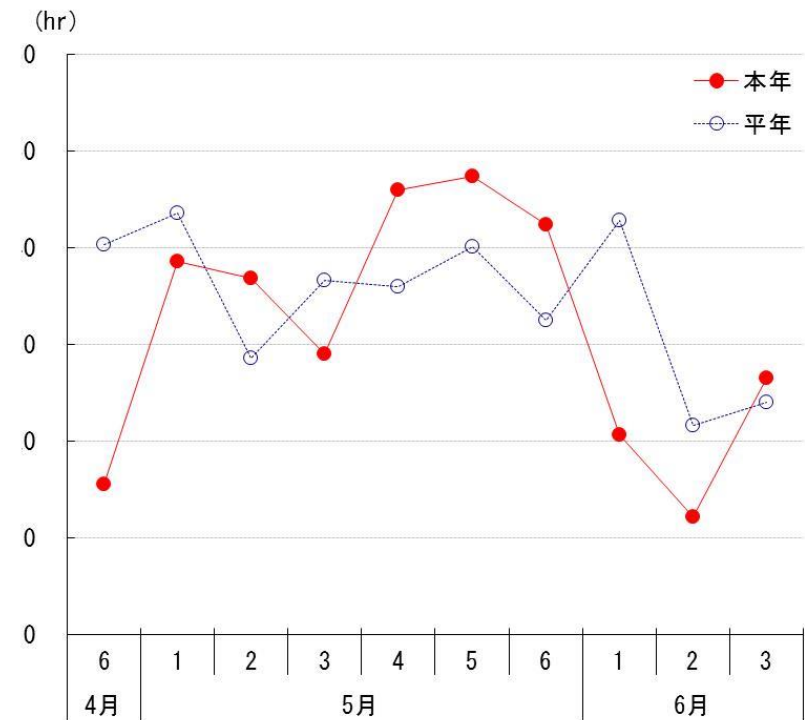


図2 半旬別日照時間の推移（龍ヶ崎市）

注）平年値：平成26～30年の5年間の平均値
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成

表4 移植時期別気象条件（龍ヶ崎市）

移植時期	期間	平均気温 (°C)			積算平均気温 (°C)			積算日照時間 (hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比 (%)
4月26日移植	4月第6半旬～6月第3半旬	18.4	19.2	-0.8	943	979	-36	316	347	91
5月7日移植	5月第2半旬～6月第3半旬	19.4	19.6	-0.2	796	805	-9	261	262	100

注）平年値：平成26～30年の5年間の平均値
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成

【 4 月 26 日移植の生育状況 】 撮影日:6/17

あきたこまち



ふくまる



コシヒカリ



【 5 月 7 日移植の生育状況 】 撮影日:6/17

あきたこまち



コシヒカリ

